

社長含む43人が東京を駆け抜けた  
チャリティーランナーとして参加

◆日本財託（東京都新宿区）では、重吉勉社長をはじめ社員総勢43人が先日（2月28日）の東京マラソンに参加した。1人10万円以上寄付する「チャリティーランナー」の枠で走ったという。

同社では2011年から社会貢献活動の一環として参加している。「日本財託」のタンクトップをランナーウェアの上から着た社員たちが東京を駆け抜けた。一番早い社員は3時間20分10秒の好タイムでゴール。重吉社長は、5時間56分57秒で完走した。毎朝、早く起きてウォーキングやジョギングをして体を動かしているという。



▲東京マラソンに参加した43人のチャリティーランナー